

2015年7月28日

JCM島根「第7回親子ものづくり教室」開催報告

JCM島根県連絡担当者

JAM山陰 書記長 椎木盛夫

- 日時 2015年7月26日(日) 10:00~12:30
- 場所 島根県松江市・ふるさと森林公園「森林学習展示館」
- 開催内容
- ・ JCM産別傘下の各単組を通じた呼びかけにより、小学生・幼児、保護者やスタッフなど、参加人員は総勢50人となった。
 - ・ 今回の挑戦課題は、ワイ・エム・シートメタル社製「鉄のプラモデル『小さな職人さん・見習い編“フォト・フレーム”』」。昨年2013年には同シリーズの貯金箱に取り組み、好評だったことから今回の課題に採用。作業難易度を少し下げた教材に取り組んだ。
 - ・ ニッパー、ヤスリ、ハンマーなど工具の使い、一枚の鉄板から部品切り取り、バリ取り、折り曲げ、ネジ締めによる組み立てまでの工程。亜鉛鋼板の素材のままでは錆につながることから、保護者・スタッフの手も貸してスプレーラッカーと利用による塗装も実施。当日作業の間に子供の写真撮影も行い、その場でプリントして、フォトフレームに飾って完成とした。
 - ・ 今回は、島根県内JCM傘下の各組織を通じて参加者を募り、3歳から小学5年生までの子ども21人(15家族)が挑戦。運営スタッフは電機連合、自動車総連、JAMで対応、JAM加盟組織の板金加工技術者がインストラクターを務めた。
 - ・ “バリ取り”など、金属板金加工などに接したこともない保護者も多く、それぞれの作業は、まさに親子力を合わせての総力戦。思い思いの色・模様をつけて、「世界に一つだけの自分の貯金箱」を完成させた。
- 参加者の感想
- ・ ヤスリ掛けが難しかった(小学5年生・女子)
 - ・ ハンマーでたたいての曲げ大変だった(小学6年生・男子)
- スタッフの感想
- ・ これまでになく、“ものづくり感”の高い内容で、見ていても楽しかった。
 - ・ 軍手の全員配布、切断、ヤスリ、曲げなど段階ごとに進捗を合わせて進行、など、安全措置には十分留意した。金属片による切り傷なども想定していたが、事故なく終わってよかった。

以上



